

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024 年 3月 22日

事業所名 社会福祉法人 戸田福祉会 あすなる学園 保護者等数(児童数) 35名 回収数 23 名

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	0	0	0	・園庭がとても広くて、子どもが走りまわってよい。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	1	0	0	・先生が多くて、安心できる。 ・PT、ST、OT等専門性の高い職員の支援が日常的に受けられるとさらにありがたいです。	・令和6年度から、言語聴覚士(ST)からの児童個々に個別課題遊びと保護者への助言をいただくことになっております。OT,ST共に日常的に指導を受けることは難しいですが、頂いた助言を保護者と共有しながら、生活や遊びに活かしていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	22	1	0	0	・文字や写真を使って分かりやすくなっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22	1	0	0	・いつも清潔です。 ・固形石鹸を使うのが下手なので、外でもできれば泡があればよい。	・石鹸については今後検討していきます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	23	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	1	0	2		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	0	1	1	・同じ空間にいても個人に合った支援が出来る。	

区分		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> • 家ではなかなかできないような活動を数多くしてくれています。 • いろいろ工夫してくださり、ありがとうございます。 	
	9	児等発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	5	12	<ul style="list-style-type: none"> • 色々な角度から活動プログラムを考えてくださっています。 	
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	1		<ul style="list-style-type: none"> • 年度開始の会の時に、「あすなろ学園保護者しおり」を配布し、説明しています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21	1	0	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングⅣ等）が行われているか	18	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者の自己肯定感も上げてくれます。 • 親子通園の時に、子への接し方のアドバイスをもらうことはできるが、プログラムとして行われているものがあるかは分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 発達障害向けのペアレントトレーニングは行っていませんが、児童の特性や関わり方、配慮など、職員と保護者がともに学ぶ機会を設けていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	0	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	0	0	0		
保護者への	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	2	0	0		
	16	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> • 困った時などは電話やアプリ、親子通園の時に相談できます。 	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
説明等 (続き)	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1	0	0		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	23	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスたよりやアプリなどで発信して下さります。 ・先生の自己紹介（名前、顔写真、クラス）の掲示物があると1年目保護者は分かりやすいかと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の紹介の仕方については検討していきます。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	22	0	0	1		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと訓練していて、いざという時のイメージがしやすく安心しています。 	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は親子通園の時に一緒に行いました。今年はわかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災避難訓練を毎月、地震引き取り訓練を年1回、洪水避難訓練を年1回実施しています。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	22	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園にいた時より笑顔が増えた。 ・とても楽しみにしています。 	
	23 事業所の支援に満足しているか	23	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・最近ではスキップでバス停に向かうくらい登園が楽しみなようです。いつもありがとうございます。 ・たくさんの友達、先生と関わり合いながら過ごせており楽しみにしています。いつもありがとうございます。 ・人の人格形成において一番大切な幼児期をこの学園で過ごせることは人生な大きな糧となると思う。 ・満足しているし、とても感謝しています。 	

この「保護者等から事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価 アンケート結果 職員14名分

公表：2024 年 3 月 22 日

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	4	1	・毎日通園している児童の他にも、地域支援業務等(発達相談、カンガルー通園、その他相談など)でも補助室の利用があるため、調整しながら行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	10	0	・職員配置の基準は満たしているものの、様々な理由(本人の体調不良、家族の看病、勤務免除など)で職員が欠員となることもあり、児童の療育支援に支障が出ることも多々ある。非常勤職員の採用、地域支援課職員がサポート入る等出来る限りの調整を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	4	0	・日課や生活場面では見通しが持ちやすいよう写真や文字、絵カード、タイマーなど個々に応じて分かりやすい手掛かりを活用しながら支援している。 ・設備等では、床がコンクリート、手すりが一部分、児童用トイレの数など昨年度引き続きの課題が多い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	3	0	・児童降園後はこまめに消毒清掃を行っている。全面的な消毒清掃は年2回行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	5	0	・クラス間だけでなく、指導室全体の会議等を通じて連携を図っている。また、年度末には、指導室全体の支援を総合的に振り返る機会を設け、次年度の支援内容について話し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	0	・連絡帳や親子通園等を通じて保護者の要望や願い等を聞く機会がある。そのような場合は、職員全体で共有し、出来る限り保護者の要望に寄り添った対応を心掛けている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	0	2	・公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	2	3	・埼玉県の指導監査、戸田市(所轄庁)の法人監査及びヒアリングを受け施設の運営、法人運営の改善に取り組んでいる。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	1	1	・内部研修の充実を図る努力をしている。外部研修に職員一人一人1回以上は参加している。支援の質的向上のため、療育の専門性を高めることは今後も課題である。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12	0	2	・日常の児童に様子だけでなく、運動発達ケース会、精神発達ケース会、支援会議等でアセスメントを行っている。また、それを基に個別支援計画の作成や、中間評価の見直し等を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	0	3	・遠城式発達検査、津守式発達検査等を使用し発達検査を年2回実施している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	3	・生活習慣、運動、遊びや社会性、親子遊び等学園の視点で支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	3	・支援計画を基にしなが、日々の療育を実施している。また、中間評価で振り返りも行いながら児童個々の成長に合わせた支援を心掛けている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	0	1	・1か月ごとに各クラスプログラムを作成し、それを基に日々のプログラムを立てている。また、日常の振り返りと共に翌日の活動プログラムを細かに話し合っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	1	1	・上司や地域支援職員スタッフ、OT、小児科 Dr などクラス以外の職員の意見を参考にし、児童の発達や興味に沿ったプログラム展開が出来るよう努力している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	12	0	2	・子どもの発達状況や行動特性など考慮しながら、個別に丁寧に関わったり、グループ活動、集団活動を取り入れている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	1	・指導室職員間で朝の打ち合わせを行うとともに、各クラス日課の確認等を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	2	2	・指導室職員間で指導後に打ち合わせを行っている。その際は、全体での確認事項、共有すべき事項など伝えあっている。また、クラス間でも日々振り返りを行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	3	・月間指導経過記録に、児童の状況を日々記録している。

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11	0	3	・支援会議で中間評価を行っている。見直しが必要となった場合は、保護者にも説明をしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	0	3	・基本的に、クラスの担当職員、児童発達支援管理責任者など子どもや家族の全体像を把握している職員が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	1	3	・母子保健とは相談時も含め、日常的に連携している。また、必要に応じて、相談事業所や子ども家庭課等と連携会議を実施している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	4	・学園とかかりつけ医や訓練先と直接繋がる機会が少ない。その為必要に応じて、保護者から丁寧な聞き取りを行うようにしている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9	0	5	・保護者から丁寧に聞き取りを行っている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	0	3	・必要に応じて情報共有をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	0	3	・就学先に関しては保護者の同意のもと移行支援前に情報共有をしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	5	4	・自立支援協議会の研修で、相談支援事業所との連携を図っている。また、県の児童発達支援センター職員との交流を行った。今後も、地域の事業所等との連携や交流を広げていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	8	4	・新型コロナウイルス感染症を機に交流が途絶えてしまっている。今後、近隣の保育園と交渉し、交流できる機会を設けていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	0	2	・施設長や課長が参加している。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	2	・毎日ではないが、児童送迎時や親子通園日に子どもの状況について話している。また、内容によっては、面接の場を設けている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	4	4	・保護者に対して、ペアレントトレーニングなどの支援は行っていないが、児童の障害、発達状況や家族の養育スタイルは個々に異なるため、親子通園などの家族支援の中で丁寧に関わり方について確認している。ペアレントトレーニング等の具体的な支援プログラムについては、職員も研修しながら今後検討していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	1	2	・契約説明会で丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11	0	3	・ガイドラインに示されている支援内容と学園の療育の積み重ねである支援内容は一致する部分が多い。そのため、学園の「総合療育指導計画」として整理し、保護者へは「あすなろ学園しおり」に要約化し説明している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	0	1	・保護者からの相談があった場合は随時面接を実施している。また、内容によっては関係機関と連携も図っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13	0	1	・創立直後から保護者会はある。ここ最近では、働く保護者の増加もあり、活動が縮小化されてきている。その為、父母教室や、クラス懇談会、親子通園等を通じて保護者同士の連携を支援している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	0	・相談内容によっては対応する職員を整えている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0	1	・学園内たよりを月2回、学園広報誌を年2回、クラスたよりは随時発行。学園での取り組みや連絡事項、子どもの様子等伝えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	3	2	・「業務要綱、業務マニュアル」等で個人情報について留意事項を明確にしている。個人ファイルの持ち出し禁止、ファイル棚の施錠の徹底など行っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	1	1	・言語でのコミュニケーションが難しい児童には視覚的な手掛かりや、表情やジェスチャーなどで本人に分かりやすく伝えている。また、保護者とも共通理解しながら行っている。

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	4	2	・感染予防の観点から、今年度も外部は招いていない。また、近隣住民には、園庭行事等で音響を使用する旨の理解を得るため、説明文書を配布している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	1	2	・それぞれのマニュアルを策定し、職員、保護者に周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	0	・火災避難訓練毎月、、地震避難訓練年2回、洪水避難訓練年1回実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	0	0	・児童利用状況票に保護者から記載してもらっている。児童健康情報に全児童の情報をまとめ職員に配布し確認している。てんかん発作についても対処法を一覧にまとめ掲示している(教室、職員室、バス車内)。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	14	0	0	・医師の診断書、アレルギー除去確認表を保護者に提出してもらい、保護者、栄養士、担任と面接を行い情報共有している。また、全職員にも周知確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	3	3	・ヒヤリハット集に記載前に、全職員に事の経緯を説明している。また、記録は各クラス職員室にファイルしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	0	2	・年度初めに虐待防止の研修を指導室職員全員で行っている。また、関係機関、自治体が主催する要保護児童対策協議会の研修にも参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11	0	3	・通園バス運行中、シートベルトと安全バーのみでは安全確保が難しいと判断した場合(立ち上がる、すり抜ける等)に、安全のために抑制帯を使用し行動制限を行っている。(バス添乗職員が状況を説明し、職員間で確認している) 通園バス利用保護者には年度初めに「行動制限に関する同意書」を提出してもらっている。また、実際に使用する際は再度保護者に事情を説明し同意を得ている。その状況については月間記録表に記載。短期間のため、支援計画には記載していない。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。